

ベトナムのスポーツ経済と観光活用の展望

2025 年 3 月 13 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ベトナムのスポーツ経済と観光活用の展望

ベトナムでは、スポーツを観光資源として活用する動きが活発化している。ホーチミン市のナイトランやビンディン省の武術イベント、バリア・ブントウ省のスポーツ大会が観光振興に貢献し、経済成長の一翼を担っている。スポーツイベントは地元住民だけでなく、国内外の観光客を引き付け、地域経済の活性化に寄与している。

経済成長とともに、ベトナムのスポーツ産業には大きな発展の余地がある。スポーツ経済は競技やトレーニングだけでなく、スポーツ用品の製造やメディア、マーケティングなど広範な分野を含む。現在、ベトナムには国際的なスポーツブランドが進出しており、国内市場の拡大が期待されている。しかし、スポーツを職業として捉える意識がまだ低く、発展には制度整備や環境の充実が不可欠である。

日本は、相撲を国技として観光資源化し、スポーツを通じた文化発信に成功している。また、中国では政府がスポーツ産業への投資を推進し、企業がメディア権やクラブ経営に参入し、市場の拡大を実現している。タイもスポーツ観光を積極的に推進し、国際的な大会を多数開催している。これらの国々の成功事例は、ベトナムのスポーツ経済発展にとって有益な参考になる。

ベトナムがスポーツ経済を持続的に発展させるには、法整備の強化、技術革新、観光・文化との統合が求められる。伝統的なスポーツの活用や企業の積極的な参加を促進することで、独自性を持つスポーツ経済の構築が可能になる。加えて、スポーツビジネスに特化した教育プログラムの導入や、企業支援策の整備も重要である。市場の成長には、政府の支援と民間の協力が不可欠であり、適切な政策のもとでベトナムのスポーツ経済はさらなる発展を遂げると考えられる。

以上